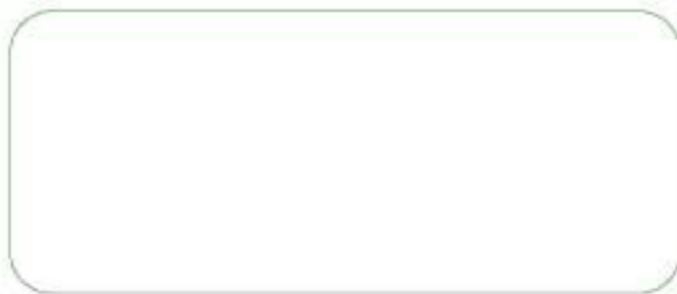




発行/ 社団法人 茶道裏千家談交会館本部
〒602-8688 京都市上京区船場通守之内上る
TEL.(075)451-5168 FAX.(075)451-3926



一盃からピースフルネスを

裏千家

茶の湯に出会う、日本に出会う
<http://www.urasenke.or.jp>

茶道は、人と人との関わりを大切にする

「もてなしの文化」です。

日々を忙しく過ごし、自然に接することも少なく、

心に余裕を持ってない現代だからこそ、

茶道を通じて自らを見つめ、

心を豊かにすることが大切ではないでしょうか。



茶室のマナーで大切な事は？

お菓子や茶花はなぜあるの？

昔段の生活に役立つかしら？

茶室は別世界のようだけとて？

和敬清寂ってどういう意味？

茶道で大切なマナーは？

茶道ってなに？



感謝と気配り

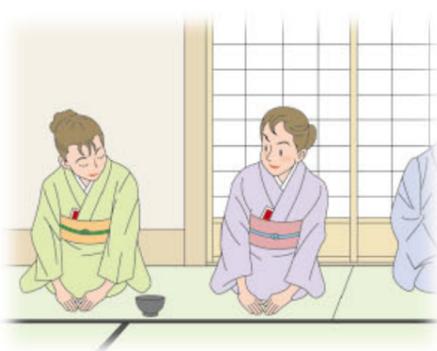
茶道での作法は、心づくしのもてなしに対しての感謝や他のお客様への気配りを自然に表したものですから、気構える必要はありません。作法を身に付けることで、より深く心を通わすことができます。

（作法の意味）

茶道にはさまざまな作法がありますが、それには意味があるのです。例えば、「茶碗を回す」のはなぜか？茶碗は心を入れて焼き上げますがそれぞれには茶碗の顔・正面があります。亭主は茶碗の正面をお客に向けてお出しします。客は謙虚な心で、正面からいただくことを避けます。そのために茶碗を回すのです。何回、回すかは重要ではなく、亭主の気持ちにどう感じ、どう応えるかが大事なのです。



【掛物拝見】
掛軸は茶会のテーマ、いわば亭主からのメッセージを表すものです。一礼して拝見します。



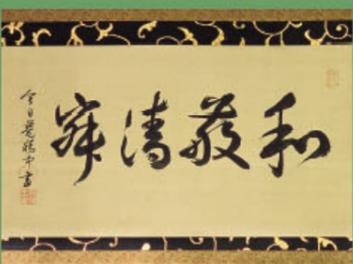
【おさきに】
お茶をいただく前に、次客に「おさきに」と一礼します。他者への心くばりが、気持よいひとときを作ります。



【正面を避ける】
亭主は茶碗の正面をお客様に向けてお茶を出します。客は茶碗を二度ほど回していただきます。

亭主と客

「亭主」は少しでもおいしくお茶を召し上がっていただくため、露地の清めから、茶、軸、花、菓子、光、温度、テーマまであらゆるものに気を配り、五感のすべてで気持ち良く感じられるように茶席を整えます。「客」も、その心づかいを理解し、互いに感謝の念を持って茶席のひとときを楽しみます。



和 敬 清 寂

お互い同志が仲良くする、和し合うということです。尊敬の敬で、お互い同志が敬い合い、自らを慎むことです。清らかという意味。見た目だけでなく、心の清らかさをさします。どんな時にも動じない心のことです。

茶花とお菓子

茶花は、茶席に入れる花で茶会の目的や趣向のほか、茶席の様子や道具と調和していることが大切です。そして「花は野にあるように」という利休の教えのとおり、自然のままの美しさをこわさないように生けられます。

お菓子は、一服のお茶をおいしく味わうために、無くてはならないものです。お菓子には、主菓子（蒸菓子など）や、干菓子（有平糖、せんべい他）などがあります。お菓子も茶花と同じように、茶会の目的や趣向、季節に合わせて道具との調和を考えて用いられます。

茶道のQ&A

Q 亭主とは何ですか？
茶道では、お客様をもてなす主人のことを亭主といます。亭主はもてなす目的に合わせて、茶花、お菓子、道具にいたるまで趣向を凝らし、一服のお茶をおいしく味わっていただけるよう心を配ります。

Q 時計ははずす、化粧は薄くと聞きましたが…
茶席は他のお客様とご一緒する場ですから、華美な服装は避け、お化粧は控えめに。時計や指輪も茶道具を傷付けてしまうのではまずくありません。時計がなければ「時を忘れて楽しむ」ことにもつながります。

Q 何故、お茶を泡立てるのですか？
お茶を泡立てて点てることによって、泡に空気が含まれてお茶がまろやかになり、見た目にも美しく、よりおいしくいただくことができます。

Q 茶席でわからなくなったら、どうすればよいですか？
茶席で作法がわからない時は、遠慮なく他のお客様や亭主に尋ねましょう。もちろん場の雰囲気を楽しまないことが大切です。

Q どうしてお菓子を先にいただくのですか？
お菓子の甘味が抹茶のほのかな味が味をひきたて、より一層に一服のお茶をおいしくいただくために、お菓子を先にいただきます。



豆菓餅・枝豆
【うさぎせんべい・うさぎもち】

黒瓜【からすり】
黒糖【あじはかせ】

雪の山【はるのやま】

山菜箸【さんしやう】
白玉糖【しらたまつばき】

花 糖【はなつばき】

曙 糖【あけぼのつばき】
土佐水木【とさみずき】

遠山・水【とよやま・みづ】

木桶【むくげ】
竹似草【たけにぐさ】